

「頭脳循環」インド出張報告

出張者：田辺明生（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授）

出張期間：2012年12月17日～12月25日

出張先：コルカタ、ジャフ・クリスチャン・カレッジ（コヒマ）

出張報告：

12月18日および19日は、これからの大学院アジア・アフリカ地域研究研究科およびデリー大学社会学部のあいだでの学術交流および教育研究に関する相談、そして、コヒマにおける国際会議についての打ち合わせを、Abhijit Dasgupta氏(University of Delhi, India)と行った。

12月20日は、コルカタからコヒマに移動した。12月21日と22日には、" Looking beyond the State: Changing Forms of Inclusion and Exclusion in India "と題する国際会議に報告者として参加した。当国際会議は、当頭脳循環事業の共催のもと、デリー大学の Abhijit Dasgupta 氏と相談をして、今回の「包摂と排除」のテーマに相応しい会議開催場所としてナガランド州のコヒマを選択し、当地の Japhu Christian College の Visakhonu HIBO 氏の全面協力によって実現したものである。

当会議には、Visakhonu HIBO 氏 (Japhu Christian College)、Arkotong LONGKUMER 氏 (University of Edinburgh)、Michael T. Heneise 氏 (University of Edinburgh)、Suryakant WAGHMORE 氏 (Tata Institute of Social Science)、Dulali NAG 氏 (Indian Institute of Social Welfare and Business Management)、Hia Sen 氏 (Presidency University, Kolkata)らその他30名程度が会議に参加し、活発な議論と意見交換をした。なお日本からは、三尾稔氏（国立民族学博物館）、井坂理穂氏（東京大学）、粟屋利江氏（東京外国語大学）、岩谷彩子氏（広島大学）、中溝和弥氏（京都大学）、舟橋健太氏（京都大学）、石坂晋哉氏（京都大学）らが会議に参加した。

12月23日にコヒマからコルカタを経て、帰国の途についた。



コヒマの風景



国際会議の様子



国際会議の様子